

第2回

日本医薬品安全性学会 学術大会

安心・安全な薬物療法の推進に向けて



写真提供：岐阜市

岐阜城図(円徳寺蔵)再使用許可画像

会期 2016年7月23日(土)・24日(日)

大会長 伊藤 善規 (岐阜大学医学部附属病院
教授・薬剤部長)

会場 長良川国際会議場
岐阜都ホテル

演題募集期間：2016年1月15日(金)～4月28日(木)

参加登録期間：2016年1月15日(金)～6月10日(金)

※演題・参加登録とも
大会HPからエントリー

基調講演1 7月23日(土)

適応外・未承認使用を
いかにマネジメントをするか

演者：塚田 敬義

(岐阜大学大学院医学系研究科医学系倫理・社会医学分野)

教育講演

1. 生体側の視点から薬剤過敏症に迫る
2. よくわかる咳嗽治療と注意すべき副作用
3. 腎排泄型薬剤の適正使用を目指して
～愛媛大学医学部附属病院での取り組み～

スポンサーセッション 教育講演

1. 救急症例から見た医薬品適正使用と薬剤師の役割
(共催：東和薬品株式会社)
2. スタチンによる肝障害・筋障害の基礎から臨床
(共催：興和創薬株式会社)

ワークショップ、ランチョンセミナー

基調講演2 7月24日(日)

ポリファーマシーの回避に向けて

演者：平井 みどり (神戸大学医学部附属病院薬剤部)

シンポジウム

7月23日(土)

1. 薬物治療における医薬品安全使用の実際と新たな取り組み
2. 医薬品適正使用推進によるアウトカム評価を考える
3. 在宅チーム医療における薬物療法の安全性確保
4. 腎機能低下患者の医薬品安全性を確保するために薬剤師がなすべきこと

7月24日(日)

5. 緩和ケア領域における薬剤師のアプローチと将来展望
～院内・院外での医薬品の適正使用に向けた取り組み～
6. 高齢者のポリファーマシー対策を考える

スポンサーセッション シンポジウム

1. がん薬物療法の安全性と連携の強化 (共催：小野薬品工業株式会社)
2. 医薬品の適正使用に向けた市販後安全管理
—治療上必要な適応外薬の取り扱い—
～安全な薬物治療に向けた薬剤師の役割～ (共催：塩野義製薬株式会社)

主催：日本医薬品安全性学会

共催：岐阜県病院薬剤師会

後援：一般社団法人 岐阜県薬剤師会

大会URL：<https://jasds.jp/conference/2016/>

大会事務局：岐阜大学医学部附属病院薬剤部内

担当者：鈴木昭夫

〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸1番1

TEL：058-230-7091 FAX：058-230-7093 E-mail：2th@jasds.jp